

資料5 評価カードの例 (理科)

「化学変化とイオン」の自己分析表

| | |
|----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 記入日：7月20日 3年 組 番氏名 | |
| 自己目標 | 友達や教科書にたよるのではなく自分の意見をしかり持つ。 自分の意見をもつてそれが当たっているかどうかを確かめよう な気持で実験に参加する |
| 関心意欲態度 | ① イオンの学習に興味をもって取り組めた。 ② 自分なりのねらいや目標をもって授業に臨んだ。 ③ 実験方法などを前もって調べ、計画的に学習した。 ④ 最後まで集中し、ねばり強く実験した。 ⑤ 後かたづけまで責任をもって行った。 ⑥ その他 (班員と協力した) |
| 科学的思考 | ① 自分なりの実験のねらいを持つことができた。 ② 自分なりの予想をすることができた。 ③ 結果を予想と比べて考えることができた。 ④ 結果からわかったこと・いえることをまとめられた ⑤ その他 () |
| 技能・表現 | ① 実験上の注意をよく守って実験できた。 ② すずんで実験に手を出すことができた。 ③ 注意深く変化の様子を観察することができた。 ④ 実験結果をきちんとまとめ記録することができた。 ⑤ その他 () |
| 知識・理解 | ① 電解質とは何ですか (陽極と陰極に溶ける物質) ② イオンとは何ですか (原子が電気を通す方法) ③ 陰性を示す物質の正体は何ですか。 (OH ⁻) ④ 中和反応の化学反応式を書きなさい。 (H ⁺ + OH ⁻ → H ₂ O) ⑤ その他学んだこと () |
| 今後の改善に向けての具体策 レポートが終わるときにまとめる。 今後調べてみたいことをメモりにまとめる | |

七 研究の成果

1 個を生かす課題設定の工夫から課題設定の工夫点をまとめると、
① 日常生活や環境を生かした導入
② モデル化や操作活動など課題の具体化の工夫
③ 学級全体の共通課題に基づき、個に応じた自己課題の設定
その結果、生徒の問題意識を高め、一人ひとりに確実に課題をつかませ、学習への集中力を高めることができた。また、課題解決への見通しや考えを述べ合ったりして、その後の多様な学習活動を進める動機づけとなり、個のよさを引き出すことになり、

つなぐたかと考えている。
2 個を生かす学習活動の工夫から学習活動の工夫点をまとめると、
① 一人調べグループ討議→全体討議、などの学習の流れの工夫
② 課題選択・コース別学習の導入
③ デイベートやワークショップ活動などの学習・発表形態の工夫
その結果、一人ひとりがその持味を生かして課題追究に取り組みよさを発揮し、互いの考えを揺さぶり合いながら、個に応じた課題解決が図られた。
3 自己評価能力を育てる支援から
(1) 自己評価活動の工夫から

自己評価の工夫点をまとめると、
① 単元導入時の自己目標の設定
カードやノート・ワークシート
② 等を使った毎時間の自己評価
③ 単元末での観点別学習状況の自己評価 (資料5)
その結果、学習への目的意識を高め、学習状況を自己点検しながら学習する姿が多く見られ、わかる・できる喜びやよさを自己認識させることができた。
(2) 相互評価活動の工夫から
デイベートやペア・グループ発表、ワークショップ活動など、相互評価活動を包含した学習活動を展開し、互いの考えを深め合ったり、揺さぶり合ったりして、相互の向上意欲を高めることができた。
(3) 教師の支援の工夫から(資料6)
評価の方法や支援の仕方を指導過程に明確に位置づけて、生徒のよさを認め、肯定的に評価するとともに、専門的な立場からの助言や向上へのアドバイスを行った。その結果、生徒によさを自己認識させ、学習活動改善の意欲を高めることができた。
4 実態調査からみた生徒の変容
事前・事後の調査では、次のような変容が見られた。
① 自ら課題を見つけ、解決の見通しや方法を考える主体的な学習態度が身に付いてきた。

資料6 指導過程の例 (美術)

| 段階 | 学習活動・内容 | 教師の支援と評価 |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| 鑑賞 | 3 作品を展示し鑑賞し合う。 ○ 遠くで見ると結構すごい。 ○ 迫力がある。 ○ もっと細かくしよう。 ○ 次はこう工夫してみよう。 | ○ 自他の作品のよさを認め合わせ、さらにこうしようという意欲づけを図る。 |
| 10分 | 鑑賞の能力 作品のよさを的確につかみ、次への課題をもつことができるか 《展示鑑賞会》 ← 《全体的な講評、個別の称賛》 | |

② 課題解決を通して自分のよさを見つけ、充実感を感じている生徒が増えた。
③ 学習に目的意識を持って取り組み向上意欲が高まってきた。
八 今後の課題と改善に向けて
今後は評価活動の質的な向上に取り組むつつ、何がわかりできるようになったか、次はどのような内容に取り組むのかをより明確にとらえられるよう、学習内容に即した自己評価能力の一層の向上を図りたい。そのため、教師が生徒のよさをどうとらえ、指導していくか、教師の関わり方(指導と評価の一体化)に力を入れて授業の改善に取り組みたい。